

# 障害者週間



12月3日～12月9日は障害者週間です  
 今号では、大磯町で暮らす障がいのある方と、その方たちと向き合い、ともに歩み続けている方をご紹介します。  
 忙しなく過ぎていく日々の中、障害者週間をきっかけに、障がいのある方と地域でともに暮らすことについて考えてみませんか？

問 福祉課 ☎(73)4530

障害者手帳にはどんな種類があると思いますか？

障がいには「身体障がい」「知的障がい」「精神障がい」の3種類があり、それぞれに手帳があります。

身体障がいには、視覚障がい、聴覚障がい、言語障がい、手足の不自由等、生まれつき症状をお持ちの方や、事故・病気によるものなどもあります。

知的障がいには、先天的に理解力や判断力が弱かったり人や環境になじみにくかったりし、生活に支障がある方もいます。ちょっとした声掛けなどで解決することもあり、軽度の場合は本人も周囲も気付かないことがあります。

精神障がいには、統合失調症やうつ病など精神の病気により、長年にわたり日常生活

に支障のある方もいます。仕事などでストレスを抱え精神障がいとなる方も増えています。

大磯町に障害者手帳をお持ちの方が何名いると思いますか？

大磯町には、令和2年10月1日の時点で、身体障がいの手帳をお持ちの方が938人、知的障がいの手帳をお持ちの方が301人、精神障がいの手帳をお持ちの方が273人います。大磯町にお住いの方の約5%、およそ20人に1人が手帳をお持ちです。支援が必要な方も多く、その方が一部が大磯町や町外にある事業所へ通い、支援を受けています。

農福連携  
 障がいをお持ちの方が活躍する場

農福連携とは、障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

大磯町の中には、障がいをもちの方の活躍する場があり、障がいをもちの方を支える方がたくさんいます。障害者週間をきっかけに、障がいをお持ちの方と地域でともに暮らすことを考える機会にしたいと思っています。

国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律（障害者優先調達推進法）では、優先的に障害者就労施設等から物品等を調達することで、障がい者が就労する事業所の仕事を確保します。町内の事業所では、清掃や公園の水撒き、啓発物品等の作成（製作）委託や受注をお願いしています。



町内等の障害福祉サービスの提供が受けられる事業所

児童発達支援  
 (社会福祉法人素心会 地域支援センターそしん)

未就学のお子さんに対し、運動、音楽、創作活動、SST(※)等の療育を提供し、活動しています。



※SST…ソーシャルスキルトレーニングの略。社会で人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身に付ける訓練。

大磯町福祉作業所等連絡会

福祉ショップ「あおと」では、大磯町役場の入口付近で、開庁日の平日12時15分から13時15分まで菓子・惣菜パン・野菜・雑貨等を販売しています。



放課後等デイサービス  
 (社会福祉法人素心会 地域支援センターそしん)

学齢期のお子さんに対し、運動、音楽、創作活動、SST(※)等の療育を提供し、活動しています。



このまちで、  
 ともに生きる。



地域活動支援センター  
 (特定非営利活動法人湘南いこの里 ジョブコーチ大磯)

主に創作的活動、雑貨等の販売をしたり、喫茶を営んでいます。

就労継続支援B型  
 (特定非営利活動法人ソーシャルファーム大磯 みつばち大磯)



就労に向けた支援としてトマト・ルッコラ等の野菜の育成から収穫や、はちみつ採取等で日中活動しています。

## それぞれの想い それぞれのたいせつな場所

たいせつな場所には心強い仲間や支援者がいます。

共同生活援助 (特定非営利活動法人グラウンドカラース グリーンリーブス)



地域で自立した生活をめざしている方が、小集団で生活をともにし、それぞれが仕事や作業所等に通っています。利用者が企画し、土日や休日を利用して皆で旅行等へ行き、余暇を楽しんでいます。

生活介護・就労継続支援B型

(社会福祉法人 おおいそ福祉会 かたつむりの家)

就労に向けた支援として軽作業や余暇活動などの日中活動をしています。

